

南丹市地域公共交通会議  
議 事 録

南丹市地域公共交通会議事務局  
(南丹市企画管理部企画推進課)

## 南丹市地域公共交通会議 1 月 2 0 日開催議事録

1. 招集年月日 平成 2 2 年 1 2 月 2 4 日 (金)
2. 開催年月日 平成 2 3 年 1 月 2 0 日 (木) 午後 2 時～午後 3 時 3 0 分
3. 開催場所 南丹市役所 2 号庁舎 3 0 1 会議室
4. 委員の総数及び出席者数並びにその氏名
  - (1) 委員の総数 1 9 名
  - (2) 出席者数 1 5 名
  - (3) 出席した委員の氏名 別紙出欠状況のとおり
  - (4) 傍聴者 2 名
5. 議事の経過の要領及び議事別の議事事項

事務局 お待たせいたしました。本日、委員の皆様には大変お忙しい中、第 7 回目の南丹市地域公共交通会議にご出席いただきまして、誠にありがとうございます。また、常日頃は南丹市の交通行政におきまして、様々なお立場でお世話になっておりますことをお礼申し上げるところでございます。

それでは、定刻になりましたので、只今より、開催させていただきます。会議に先立ちまして一言ご挨拶させていただきたいと存じます。

前回の会議が 1 1 月 1 8 日に、第 6 回の交通会議を開催させていただきました。その後、交通事業者を対象といたしまして、現在までの間に 3 回説明会を開催させていただきました。デマンド運行実証実験の概要と事業詳細について説明を行い、一定のご理解をいただいたところでございます。その説明会で、事業者からいただきました意見の中で、事業の詳細となりますが、お客様が、バス、タクシーの予約時間について 1 時間前ということで、前回の会議でご提案をさせていただいておりましたが、地元の事業者が既存の顧客の依頼があった場合、

代替の業者が運行することとなり、1時間前では対応が困難となるケースや、朝一番のダイヤに関しては配車の都合により1時間前が困難となるケースがございます。また、最近のような大雪のような条件の場合もございますので、場合によっては予約から到着をするまで1時間以上かかる場合が想定されるという事業者からのご意見をいただきました。原則的には予約を1時間前といたしますが、できる限り早めの予約をいただくようお願いをすることとして、そういった場合があるということをも市民の皆様へ広報をさせていただき、周知を図りたいと考えております。

また、デマンド運行の形状といたしましては各地域の実情により様々な形があろうかと思っております。この南丹市におきましても地理的な条件や市営バスの状況、福祉タクシーの状況などを踏まえ、南丹市ならではのデマンド交通の体系を構築し、よりよいスタートを考えているところでございます。現段階はあくまでも実証実験ということですので、本格実施の段階にはできる限り住民ニーズを取り入れ、実施をしていきたいと考えておりますので、実証実験の期間には、こうした地域公共交通会議を開催いたしまして、状況や検証を報告させていただき機会を設けさせていただき、南丹市ならではの完成度の高いデマンド交通にしていきたいと考えておりますので、委員の皆様にはご理解をお願いいたしまして、ご挨拶とさせていただきます。申し遅れましたが、私は本日司会をさせていただきます企画管理部の井上でございます。どうぞよろしくお願い申し上げます。

事務局　それでは、設置要綱の第6条第1項に基づきまして、松尾会長に議事進行をお願いいたします。

会長　それでは、改めましてこんにちは。本日は、南丹市地域公共交通会議を開催いたしましたところ委員の皆様には足元が悪い中、ご出席をいただきましてありがとうございます。南丹市では高齢化が進むなか、交通弱者に対する新しい交通体系が求められ、デマンドバス、タクシー事業を実施しようということで、委員の皆様については前回に引き続きご議論をいただくこととなります。今まで交通弱者の皆様には不便な思いをされてまいりました。タクシーなどもございますが、なかなか利用ができず、街まで出かけることができない高齢者の方もございます。そういった交通弱者の方々が少しでも利便性を感じていただ

いて利用でき、広がっていくような形になればよいと考えています。このような制度で、高齢者の方々が、また、新たな生きがいを求められるような形で、外出が促進されることになればと思う。しかしながら、利用者のことばかり考えてはいけないのが現状でございます。今まで地域の交通を支えてきた事業者の皆様方にとりましても、この事業が、民間事業者の圧迫になるようなことなく、さらに広がっていくような形で、南丹市全体が潤うような事業になればと考えています。そういった意味で委員の皆様から貴重なご意見をいただきますようお願いをいたしまして、簡単ではございますが冒頭の挨拶といたします。

次に、出席者の報告を事務局よりお願いします。

事務局 失礼をいたします。本日の南丹市地域公共交通会議の委員19名に対し出席者は14名（遅れて1名出席）です。設置要綱第6条第2項の規定に基づきまして、本会議が成立している事をご報告いたします。

会長 それでは、デマンドバス・タクシーについて協議をいたします。事務局より説明をお願いします。

事務局 失礼をいたします。資料の確認をお願いします。（確認）  
デマンドバス・タクシーについてご説明をさせていただきます。前回の会議で決定いただきましたエリアに基づき、運行ルートを図に落とさせていただきます。胡麻地域について、現在の路線バスの運行ルートと重複しているところも多くありますが、畑郷のバス停から先、露越、上畑の地域へ延長している。また、上胡麻会議所と丸山付近、木戸の生活改善センター付近を巡回するルートとしております。基本的には300メートル程度の範囲でデマンドバスを利用していただけるようにと考えております。

もうひとつの日吉駅を起点といたしましたルートですが、志和賀地域では、府道から八栄集落へ入るルート、また、志和賀西組の会議所まで入るルート。さらに、中世木地域では、既存のバス停である上谷から奥の東牧山、西牧山へ入るルート。生畑の山の家から奥で路線バスが走っていない地域である、上ひよ、小畑、そして四ツ谷海老谷といった地域へ入ることとしております。

次に、美山地域の大野・長谷エリアでございますが、府道に沿って大野ダムまで市営バスが運行をしておりますが、新たに長谷、川

谷、肱谷、音海、向山の集落内へ入ることとしております。鶴ヶ岡エリアにつきましては、市営バス路線から延長した形で、丹波福居、吉田、林、洞の各集落へ入ることとしております。知井エリアについては、知見口を起点として、ほぼ現行の市営バス路線を利用し、昼間のデマンドダイヤを確保することで、利便性の向上を図ることとしております。

日吉、美山エリアは大変広いので、このように分けてエリア設定をさせていただきます。

次に、それぞれのエリアのダイヤについて、資料をつけさせていただきます。ダイヤは決定ではございませんで、あくまで目安としてご覧ください。胡麻、中世木、生畑、海老谷につきましては発着駅がJRの駅ということもございまして、乗降客数の多い京都方面のダイヤをメインに、できる限り接続できるよう編成しております。運行時間が9時から3時ということではございましたが、距離的なものや、次のダイヤ、乗り継ぎといった関係から、9時以前、3時以降に運行するダイヤもございます。

なお、美山エリアにつきましては、現行の市営バスダイヤをデマンドバスに合わせてダイヤ編成する予定としています。

ご説明させていただきましたそれぞれのエリアにつきまして、運転日を設定させていただき、胡麻、志和賀、鶴ヶ岡、大野につきましては、月、水、金曜日に運行し、中世木、生畑、海老谷、知井のエリアについては、火、木曜日に運行をする計画としています。

続きまして、申込み受付から運行までの流れについてですが、資料にありますフロー図をご覧ください。

デマンドということですので、利用者の方は予約申込みをする必要がございます。それを受け付ける、予約センターを設置させていただきます。受付センターから、図にございますように運行事業者へ配車要請を行い、運行可能な事業者が運行を行うということになります。この場合、効率性、地域性をふまえ、地元事業者から優先的に配車を行うこととしております。地元のタクシー事業者が既存の顧客運送を行うため、こちらの運行ができない場合には優先順にB社、C社というように配車要請を行い、最終的には予約センターを担当する事業者が運行することとしております。資料に記載して

おります事業者が今回、参入予定をされております事業者様でございます。

実証実験ですので、この計画でデータを取り、状況に応じて変更をかけていきたいと考えています。

会長            それでは事務局の説明に対し、ご質問なり、ご意見をいただきたいと思えます。

なかなかご意見といいましても、すぐには出にくいかもしれません。もっと利便性を高めての運行、というご意見もあろうかと思いますが、南丹市のなかでも日吉、美山地域は大変広い地域ですので、そこはなかなか難しいところがあるのかなとも感じます。ただ、試験運行をして、だいたい2ヶ月ぐらいでデータをまとめていただき、改めて皆さんの声を聞き改善を進めていくということ、私自身は事務局をお願いをいたしております、最後にこのことを確認したうえで進めたいとは考えています。

なかなか出ませんので、ご指名で申し訳ありませんが、高野委員さんいかがですか？

委員            それでは、何点かお伺いをいたします。市営バスをデマンドバスに接続するようにダイヤ編成をすることでしたが、4月1日からされる予定であるのかということ。すべてのバスについて乗り継ぎが可能なのかということ。既存の市営バスの運行について、昼間はどのようになるのか。前回の部分ではありますが、利用料金について、一律250円ということですが、それよりバス料金が安い区間の乗車の場合、利用者にとってどう納得してもらおうのか。あと、実証実験ということですので、どのくらいの時点で再検討をされるのかということをお伺いしたい。

会長            事務局お願いします。

事務局            まず、市営バスの連絡につきましては、こちらのデマンドのダイヤが決定しましたら、これに合わせて市営バスのダイヤを編成するという作業になります。ただ、すべての便で、到着してすぐに連絡便が確保できるかということ、なかなか難しいのかなと思えます。できる限り待ち時間が短くできるように設定したいと考えています。また、買い物、通院などの時間を想定して帰りの便の設定もあわせて行いたい。これらに伴って昼間、枝の部分の市営バスを幹線へシ

フトしていく必要があると考えています。料金のことでございますが、市営バスの料金で、エリア内の一番長い距離を移動した場合250円、安い区間ですと150円ということで、一律250円といたしますと100円が割高となるというご指摘ですが、当初、バスよりも若干便利なデマンドであるということで、250円に統一をさせていただくこととしました。様々なケースが考えられますので、実証実験の期間中、ご意見としてそういった要望が多いようでありましたら検討をしていかなければいけないのかなと思います。

また、実証実験中の検討については、一定の実験結果が得られた時点で皆様に結果をお示しさせていただき、随時、検討を行う必要があると考えています。もちろん実証実験途中でも改善すべき点がありましたら改善するということで対応していきたい。

昼間時間帯のバス運行ですが、デマンドが走っている路線を市営バスが併走するようなことがないようにと考えていますので、その分の市営バスに空きが出てきます。その空き部分で幹線の短い区間をピストン運行して本数を増やすということも考えられます。

会長 他にございませんか。

委員 想定される乗車人数について、どの程度を見込まれておられますか。予約センターについてはどこに設置される予定なのか。利用者へのPRについてはどのようにされるのかをお伺いします。

事務局 まず、予約センターについてですが、市の事業として位置づけてございますが、運行管理、予約の受付業務は参入いただく事業者の中の1社が行うこととしております。予約センターを引き受けていただく事業者については、今後、決定していく予定です。と申しますのも、地元事業者を優先して配車をする仕組みとしており、それが無理であれば次の事業者、という作業をすることになりますので、予約センターは全体で1箇所ということにいたしました。予約業務を市が1事業者に委託をするという形になります。次に想定される利用見込みについては、1便あたり2～3名と想定しています。広報についてですが、市が発行いたします広報媒体であったり、ホームページやCATVといったところでPRをしていきたいと考えています。

委員 初めてのことでございますので、利用者が知らなければ、データも不十分

となってしまうので、PRは充分行ってほしいと思います。それと、23年度に日吉美山エリア、24年度に園部八木エリアの実証実験を行うという計画ですが、日吉美山エリアは23年の結果によって24年度に本格実施を行うのか？園部八木エリアの実証実験を待って行うわけではないですね。

事務局 日吉美山エリアの実証実験はあくまで1年間と考えておりますので、実施することとなれば24年度に本格実施という計画です。

委員 初めてのことでですので、委員長がおっしゃったように、2～3ヶ月で一度検討を加えることが必要だと思います。

委員長 そのことはぜひ皆さんと確認をしておきたいと思っております。2カ月おきといたしますか、一定それぐらいの間隔で検討を加えていく必要があると思います。

委員 本格実施となった場合、ここに記される予定事業者の6社で車両は確保できるのでしょうか。

事務局 今回、この事業に際しまして9社の事業者にお声かけをさせていただいております。地域性もございまして、園部地域などを拠点とされている事業者につきましては、今回の日吉美山は見合わせるというところもお伺いしており、園部八木エリアの際は、参画をされるのではないかなということもございまして、南丹市全域で本格実施となった場合にも車両に関して確保可能だと考えています。

委員長 この事業によって、利用者も便利になる一方で、事業者も繁栄できるような仕組みになるように。やはりそれが地域経済の発展にもつながりますので、そういった2面性を重要視して進めなければいけない事業であると思います。この事業で地元の事業者が衰退することがあつては、市の経済が冷え込むこととなりますので、その点は私も市へ充分注意をするように言っております。財政が厳しいという一方で、経済が回らないということがあつてはいけないと思います。

委員 事業者の方から聞いた話ですが、タクシーで走っているより、今回提案のデマンド事業は収入が安いので、あまり前向きな声を聞かなかつたので、さっきの話を聞くと、その辺は市として市民に対しては公共交通の利便性を前向きに考えていただけるのはありがたい話ではありますが、事業者の方が快く引き受けていただけるような

内容であることがいいのかなと思いました。

事務局 昨年末から3回にわたり事業者との打ち合わせを行ってまいりました。その中で事業者のお話を伺うにつれ、営業も厳しい状況にあって、市の事業によってさらに厳しい状況となることはやめてほしいということも伺っておりますので、そのあたりのことは充分承知しております。住民のニーズにお答えしながら、事業者と調整を行い、事業者の方も気持ちよく引き受けていただけるということが望ましいというふうに考えています。また、事業者との間も実証実験ですので、打ち合わせを行っていきたいと考えています。

会長 他にございませんか。

委員 教えてほしいのですが、時間が決まっているけれど、時間の都合が合わないときに、予約の時に都合のよい時間に利用したいという申込みはできないですか？また、料金のことですがバスの料金が安い区間でも一律250円ですか？例えば、佐々里から田歌まででも250円ということですか？

私は、この制度が定着すれば、今の定期バスより利用が高まるのではないかという期待を持っている。

事務局 時刻表がこれで決定ということではございませんが、ダイヤ以外の時間をご指定いただくことはできません。ただ、利用客の有無により、走行ルートが変わりますので、設定されているダイヤと若干の誤差が発生することはあります。申込みの方法は、どこそこのバス停で何時の便に乗ります。という申込みをしていただくことになります。乗車いただきましたら、路線上のどこで降りていただいても結構です。

料金については、路線の区間一律250円ですので、短い区間でも250円ということにはなります。

委員 フリー乗降については可能ですか？

事務局 現在、南丹市営バスのフリー乗降を、昨年度の地域公共交通会議で承認いただきましたので、この4月から実施ができるのではないかと状況です。そうになりましたら、このデマンドバスについても、可能ということにする予定です。あくまで路線上のフリー乗降です。

会長 フリー乗降ですが、わかりにくいところではなくて、わかりやす

い何か目印のあるところ、というのがよいとは思いますが、フリー乗降ができれば、先ほどの料金の話ではありませんが、150円の区間であるのに、なぜ250円払わなければいけないのかということになる。フリー乗降で利便性が高まるし、一律250円という設定であろうと思う。自宅の前まで迎えに来てくれということとはできないが、概ね200～300メートルの範囲で乗車ができるというものである。

会長 他にございませんか。

委員 利用者の方々に、なじみを持って呼んでもらえるように、このデマンドバス・タクシーに愛称、名前をつけてはどうか。愛称の候補を広く公募するのもPRの手段であると思う。走る車両はタクシーと同様のものになるので、はっきりとわかるように標示をすることが必要となりますが、その標示を愛称入りのものにするとういと思

会長 ぜひ、事務局には愛称を募集して、PRになるように取り組んでほしい。

もうひとつ、私からのお願いは予約センターを設置するわけですが、お年寄りの方が気軽に申込みができるような予約センターとしてほしい。一般のタクシーを予約するような対応ではなく、高齢者に対する業務として対応できるような体制としてほしい。本来、このようなことは地域の社協や商工会といった地域に密着したところでやっていただくのが本意ではあります。しかし、公共交通の一環でございますので、交通会社が行うということとしております。住民の方が電話をして、ほっとするような受付システムにしてい

だきたいというのがお願いです。  
特に他が無いようでしたら、2ヶ月程度で再度検討を加えるという

委員 すみません。何度も言いますが、利用料金の一律250円は変更をすべき。

会長 利用料金については、前回の会議にてお諮りさせていただき、決定したことです。区間ごとに料金を設定することになると、バスと同じように複雑な料金徴収の仕組みを作る必要があるのでは、一律というのが望ましいということで、前回決定したかと思う。ただ、こ

の料金で試行をして、改善するべきだということであれば改善していく。さらに、本格実施を行う際には改めて決定する必要がある。

委員           はい。結構です。

会長           それでは、本日提案させていただいた内容でご異議ないようでしたら、挙手をお願いいたします。

**【全員挙手】**

会長           ありがとうございます。挙手全員と認めます。これで本日の提案は認められたことといたします。